

第4回大刀洗町住民協議会議事要旨

コーディネーター	荒井英明（神奈川県工業内陸団地事務局長，構想日本特別研究員）
ナビゲーター	—
説明担当者（自治体）	建設課管理係 生涯学習課文化財係
日時	2021年3月13日（土） 13時00分から16時00分
場所	大刀洗町中央公民館
その他	参加者数 15名 欠席者数 9名

趣旨・概要

1. 挨拶
2. 前回の振り返り・今回の内容確認
3. 議論
4. 講評
5. 挨拶

協議の流れ

1. 挨拶

構想日本代表 加藤氏から挨拶があった。

2. 前回の振り返り・今回の内容確認

コ：まずは、初参加の方に自己紹介をいただきたい。

委：町に居住して7年になる。子どもが3人いる。保育園が5か所もあることはいいことだと思うが、幼稚園がないので待機児童が多く、働きたくても働けない女性が多くいる。公園はよく利用するが、遊具が少ないこと、椅子も少ないので、レジャーシートを持っていかないと食事ができない。会話をするのも立ってする状態。

コ：大刀洗町は子育てしやすいという意見が多かったが、感想を伺いたい。

委：保育料も安いのはありがたい。車社会なので歩かないことも多く、子どもたちが運動不足なのではと感じることもある。そのため、公園をよく利用する。

コ：本日は、提案書の案に沿って議論を行い、最終的に意見提出シートを提出していただく。提案書の案は議論の内容や改善提案シートの内容を基に作成したもの。

提案書の内容に入る前に2点説明したい。

①今までは公園をどのように活用していくかという、直接的な公園の使い方について議論をしてきた。冒頭、加藤代表から話のあった、ゴミステーションの件については、資源の再利用の場を公園に置くことによって、住民のコミュニケーションの場とするということ。公園を会場とすることも、利用策の一つだと言える。

②当時の大刀洗飛行場に小学生が修学旅行に来ている写真を提供してもらった。これについて、生

涯学習課の方から説明をいただきたい。(※下記ホワイトボードに貼り付けの写真参照)

担：今の菊池武光像のある場所で昭和13年に撮影をしたもの。後ろに見える建物は大刀洗飛行場関連の第4飛行戦隊の材料所とのこと。

コ：前回、川の水質問題で宿題にしたものがある。その点について回答をいただきたい。

担：河川管理者(県)に問い合わせたところ、牡蠣殻等で水質浄化を図る場合、河川占用は水の流れを妨げるようなことがなければ可能とのこと。ただし、設置する場合には、それを固定する設備が必要になり、費用が大きく掛かることが考えられる。

3. 議論(要旨)

コ：前回終了後、友人や家族などに意見を伺った方がいればお聞きしたい。

委：川に子どもが落ちそうになることもある。水が汚いのも嫌ではあるが、費用は掛かるとのことだったので思案している。

コ：これまでの中で議論をしてきたが、町民の皆で力を合せて綺麗にしていく活動が生まれたとしたら、周囲の方たちは協力してくれると思うか。

委：してくれると思う。下高橋地区では、毎年みんなで川を清掃する日がある。

コ：先ほど話をした、ゴミステーションの件について意見があればいただきたい。

委：分別に興味があり、可燃ごみを極力減らす努力をしている。可燃ごみやペットボトルなど、ものによって3か所にゴミを出しているが、1か所で完結できれば良いと考えていた。

委：わざわざ公園でやらなくてもいいのではないかと感じる。

委：大刀洗町は分別があまり厳しくないなので、こういった物で分別が進むはいいことだと思う。ゴミを分別して出すことで、地域に還元されるようなシステムがあれば意識付けも強くなるのでは。

コ：このことによってゴミ処理費が削減できれば、それを住民に還元する仕組みが必要という意見かと思う。

委：必ずしも公園でなくてもいいとは思いますが、分別をして資源ゴミという意識を町民に持ってもらうには良いきっかけになるのではと思う。

コ：ゴミ処理に関して住民協議会を開催してもいいのかなと思う。その中で、公園がふさわしい場所かどうかについて議論が出来たらより良いのではないかと。

では、提案書の案の内容について議論をしていきたい。提案1~4の順に議論を進めたい。

委：愛犬家が利用しやすいような形にすると、コンセプトが変わってくるのではと思う。

コ：今、犬を連れていくことは出来るか。

担：禁止はしていない。散歩できることをアピールもしていない。ただし、リードを繋いでおくことは明文化している。

委：過去、利用者が少ないという話があったが、利用者を増やしたり認知度を上げたいということであれば問題がないように思うが、特に内容が変わっていないのにアピールをしても、利用率や認知度が上がることは難しいのではと思う。遊具の更新の話もあったので、色々と変化があった後にアピールをした方が効果的ではないか。

委：朝、犬を散歩している方をよく見かけるので、愛犬家の意見は良いと思う。

委：先日、夜に公園に行ったが、散歩をしている方が多くいた。利用者は子どもから健康志向のお年寄りまで色々な方がいると思う。それぞれのニーズに対応できる公園になったら、ロコミなどで自然と利用者が増えるのではと思う。

情報を公開することは、知れたことで人が集まるので良いことと思う。

コ：住民や地域が出来ることの部分でもご意見をいただきたい。

委：近所の公園に行くときには、ゴミが落ちていたら拾うようにしている。ゴミ箱も設置してあるので、そこに捨てるようにしている。

コ：大刀洗公園にはゴミ箱はないか。

担：設置していない。

コ：ゴミは持ち帰るようにしてもらっているということか。

担：そのとおり。

コ：すると、個人が出来ることの中に「ゴミは持ち帰る」ということを加えてもいい。

委：提案が漠然としていて、どこ（誰）をターゲットにしているのがわからない。明確な改修年次があって、そこに向かったロードマップのようなものがないと意見がまとまらない。

コ：どうなるかわからない中、意見を伺ったので漠然としてしまったのかと思う。後ほど出てくるが、子ども用の遊具については整備をしてもらうことを記載している。遊具が新しくなる前提で提案書が出るので、それを踏まえると、遊具が新しくなる前提で提案内容を書いてもいい。

委：小学生は単独で校区を超えた移動が出来ないこともあり、公園の整備が不公平感に繋がることも考えられる。そういった課題も考えていかないといけない。

コ：町全体の公園のあり方についても今後考える必要があるとは思う。

大刀洗公園が良い公園になれば、他の校区の方も自分のところの公園を良いものにしてもらいたいという意見は出てくると思う。公園全てを一斉に議論できればいいが、ある種のジレンマなので、まずは大刀洗公園を良くしていくことで、他の校区に波及することも考えられる。

委：町の人口が増えていくことが良いという前提の中で、ターゲットを絞った方が良いと思う。

以前から話の出ている花壇に子どもたちに植栽をしてもらい、来たいと思えるような公園になれば自然と人が集まると思う。

委：小学生の移動のルールがある中では、行こうと思えば行ける距離なのに移動できない実態があるのかなと思う。

前回参加後、久留米や築後の公園に行ってみた。そこでは、一部にドッグランのスペースが設けられている。大刀洗公園も遊具と逆側のスペースなどを活用すると、子育てが一段落した方たちに使ってもらえるのではないかと思う。

コ：広い意味でのゾーニングになるかと思う。町民全体という視点をもって公園について考えることも提案書の中に盛り込みたい。

続いて、提案2について議論をしていきたい。文化や歴史のアピールが出来るか、まずは担当課に伺いたい。

担：絶対に出来ないということはない。

委：歴史的なものが文章ではいまいち伝わらないと思うので、イラストなどで表現、勉強出来たらいい。

コ：生涯学習課として情報は整理されているか。

担：整備は特段していないが、保存はしている。案内文については平成11年に今の公園に改修される前に設置している。そのため、見当たらない・わかりにくいといった意見をいただいているので、場所の移設などの対応を検討したい。

コ：提案に盛り込みたいと思う。

後ほど出てくるが、公園の管理やルール作りを考える会議を設けたとして、その会のなかで歴史を語り継ぐなどの活動をしてもらえたら繋がるのではと感じた。

コ：休憩の間に銅像のところにある看板の内容を記載した資料を配布したのでご確認をいただきたい。提案3について議論を行いたい。

委：何のために公園の利用者を増やしたり、何年がかりで実行していくのかが見えていないのでイメージが湧かない。次元目標が必要ではないか。

コ：初回到公園の利用者の推移の資料を配布している。例えば、そこから1割増などといった目標か。直近の利用者数は。

担：約60,000人である。

コ：当面の目標として、毎年1割ずつ利用者を増やしていく。そのために遊具の更新を行うというストーリーになるか。何故1割なのかという問題はあるが、目標なので設定したい。仮に、これを記載するとすると、前段の文章に入れ込むことになる。これについてご意見があれば伺いたい。

委：毎年1割ずつ増やしていくのは難しいので、H29年度の利用者が約65,000人なので、この水準に戻すことを考えたかどうか。

コ：その目標年度はいつ頃までにするか。

委：3年間で5,000人減っているので、5年間（R8年までに）で元の水準に戻すことを考える。

担：今後、遊具の更新等をするのを考えると達成できない数字ではないのかなと思う。

委：人数調査はどのように行っているのか。

担：管理人が計数している。

委：遊具の更新やイベント開催の回数を増やしていけば注目を浴びると思うので、新たな利用者が増えると思う。だが、大刀洗公園にしかない特徴も欲しいので、地域の特徴を活かしたバスケットゴールのようなものもあると幅広い年代が使いやすいと思う。

コ：地域の特徴（バスケ）は書き方を改善する。

委：福岡県はバスケットボールが強い学校が多いので興味を持ちやすいかと思う。

委：管理棟のトイレは使えるのか。

担：使用可能である。

委：特に夜はトイレが暗くて利用しづらいのでぜひ改善をお願いしたい。

委：危険予知トレーニング（KYT）の考え方もあり、柵があった方がいい、なくてもいいという両方の意見で賛否両論あった。住民協議会に参加をしている人はKYTの考え方の認識があると思うが、参加をしていない人は、その認識がないので、柵がないから子どもに公園の使用を控えるように言っているということを知ったこともある。そのため、柵の設置を改めてお願いしたいと個人的に思う。

委：注意力が低い子どもを持つ親は、柵がないと危険なので連れていきたくないという方もいると思うので柵は必要。

子育て世代が公園を利用するのは、遊具が一番の目的なので、遊具に関しては子育て世代に意見を聞き、力を入れてほしい。いずれにせよターゲットを絞ることが必要。

コ：これまでも柵については様々な意見があった。KYTをすることが難しい子どもたちにどういった対応をした方がいいかということは、皆で協議する必要があると思う。

子育て世代をターゲットにして遊具をメインに据えるのであれば、遊具の使い方や遊具を使う子ども同士、その親同士のコミュニケーションも大事という話が出た中で、こういったルールや改善点を住民や利用者が、会議体を作ってみんなで意見を交換することが必要ではないかと思う。今後、その場の醸成が必要になると思う。

これまでは、公園のルールは行政が決めて、利用者はそれを守るだけだったが、今後は住民や利用者が考えていく必要があるように思う。これらも提案書の中に上手く盛り込みたい。

委：スペースの問題などもあり、大刀洗公園では実現できないものを他の公園の特色も踏まえながら実現していくという観点から、他の校区にもある公園にも目を向けた計画を建てて、話し合う必要があると思う。コミュニティバスなどといった物も絡めて考えていただけたらと思う。

コ：皆さんの意見をネットワーク化して繋げていくことも一つの方法かと思う。過去の参加者によるOBOG会もあるので、そういったものも利用できる。

委：全体的にどこを見てもイベントのことが書いてあったりと、提案を分けている意味が見えてこない。最初に周知が来ている点も気になる。遊具が更新されたなど、何かがあつてのPRだと思う。

委：遊具をメインに据えて環境整備をしていけば、子どもの両親や祖父母が集まり、結果的に目標の65,000人を達成できるのではないかと思う。

柵に関しては、どうしたら安全に公園を利用できるかという視点から考える必要があるように思う。

コ：安全に関する尺度はそれぞれ異なる。整理をする必要があるように思う。

委：やはり目玉となるような遊具があれば、利用者も増えるのではと思う。回覧板に遊具に関するアンケートを入れたらどうか。

コ：遊具とウォーキングなどがメインになってきて、今回の提案では遊具の更新を求めることが一番大きなポイントになってくるように思う。利用者で今後も意見を出し合うという点は、この住民協議会をきっかけに継続してもらうこともポイントになる。

続いて、提案4について議論を行いたい。この住民協議会で、何を自分たちが出来るかという一つのポイントとなる提案になる。

委：意見はずれるが、子どものことを考えるならば、保護者に意見を聞いて取り上げるのが良いのではないか。また、老人ホームなどで意見を聞く方が早いのではないか。

コ：そういった意味では、広く利用者という認識になると思う。

委：自分の考えを持っていても口に出せない自分もいて歯がゆい気持ちもあったが、皆さんの意見を聞いて公園の自分ごと化が出来たように思う。公園にほとんど行くことはなかったが、直近4か月くらいの間に何回か行くことがあり、行政がしっかり管理をしているなと感じた。あとは自分が何をするかということ考えた。

コ：たった一つの正解がない中で、色々な意見を聞いて分かり合えるということは大事なことだと思う。みんなが公園に注目することで良い公園になっていくと思うので、見てあげるといことは重要だと考えている。

委：自身が子育てをしていた際には、公園での親同士のコミュニケーションが楽しみで出かけていた部分がある。友達のいないところに嫁いできて昼間一人で過ごすよりも、公園に行けば誰かがいるという安心感がある。大きい遊具で子どもが遊ぶと目が離せないのも、1~2歳の小さい子どもでも安全に遊べる遊具と小学生などが遊べる遊具と、ゾーニングをした遊具が良いのではと思う。スペース的にも、隅っこではなく、もう少し大きく使っても良いのではないか。

コ：遊具については、前回までの意見で世代別のゾーニングが必要ということがあった。それぞれが楽しめる工夫が出来たら良い。

委：自分ごととしてあまり意識をして公園を見れていなかったのも、これからは自分に何が出来るかを考えていきたい。

委：ゴミを捨てないに加えて、ゴミは持って帰るということを付け加えたい。また、ゴミ箱の設置は無くてもいいと思う。

委：先ほどトイレの話があったが、女の子を持つ親としては、昼間でも行かせられない。この機会を機に、何度か大刀洗公園に行った。環境や自然、記念碑など全体的に見てすごくいい公園だと感じた。細かいことを言うと4回の住民協議会では決まらないと思うので、運営会のようなものは確かに必要だと思っている。だが、自分がしたいかという遠慮をする部分もある。自分にメリットのあるボランティアの仕方であれば参加をしてもいいかもと感じる。色々な意見がある中

で、健康ラボで健康のためのことを行うとポイントが溜まるように、花壇の掃除や川の掃除をしたらポイントがもらえて、商品と交換できるようになると親子でも参加が出来ると思う。すると色々な世代が何らかの形で公園に携われるようになるのではないかと。具体的な部分は運営会で協議していくイメージを持っている。

コ：ポイント制のボランティアは、地域に還元する方法もあれば個人に還元する方法もある。前回の改善提案シートの中に、議論をした意味を公園の中に残すという意味で、この住民協議会の参加者で記念植樹という意見があった。個人的に素晴らしい意見だと思ったので、提案書の中に入れてらどうかと思っている。

委：今後、役場がどの様に進めていくのかを伺いたい。

担：答申書が提出されたのち、遊具の更新については進めていく。トイレについても、明るさについては検討を進めるとともに、和式から洋式にしていきたいと考えている。

コ：全体的な考え方として、提案内容については出来るだけ考え方を活かしていただけるということでもよろしいか。方向性を説明する場を設けてもらえたらありがたい。

担：方針等については報告できればと思う。

4. 講評

＜構想日本代表 加藤氏＞

皆さん色々な意見を持っているが、全部を行うことは中々難しい。年齢も条件も異なる多様な方がいる中で、ボール遊びをしたい人もいれば、ボール遊びをされたら危ないと感じる人、色々な方がいる。遊具の話も、小さい子ども向けがあると良いとなれば、少し大きな子ども向けもほしいとなってくる。一方で、遊具には事故の問題も付きまとい、危険となれば一律に使用禁止とせざるを得ない。出来たら出来たで問題があることもある。子どもが遊びを工夫するという考え方が強いため、外国の公園ではほとんど遊具はない。

ルールは一度作り始めると、どんどんと細かくなっていく。行政はルールを守らせることが目的になってしまい、結果的にみんなにとって窮屈になってしまう。

安全安心のために柵を作るという話もあった。立ち止まって考えると、どのような高さにするのか、どれくらいの隙間なのか、頑丈なものを作ればコストは高くなると、柵一つをとっても、いざ作ろうとなると細かくなっていく。何を作るとしても、どこかに必ずマイナスの面もある。

目標の話もあった。皆でにぎわうようにしていこうという考え方はとても良いと思う。だが、逆に考えれば、1割増やすということになると、「1割」が独り歩きする可能性が十分にある。目的は公園を大勢の人が楽しく使うことだと思うが、利用者を増やすということが目的にすり替わってしまうと、行政側も見誤った対策を講じてしまうことになる。何が良いか、何が悪いかは、皆さんよくお考えになっていると思うが、どれにもプラス・マイナスの側面があることは改めてご承知おきいただけたらと思う。

行政の話を知りたいという意見もあった。行政の話を知るとはとても大切なこと。だが、自分たちの公園なのだから、「それで行政は何をどうするのか」と行政に何かを求める、答えさせるということだけではダメだと思っている。

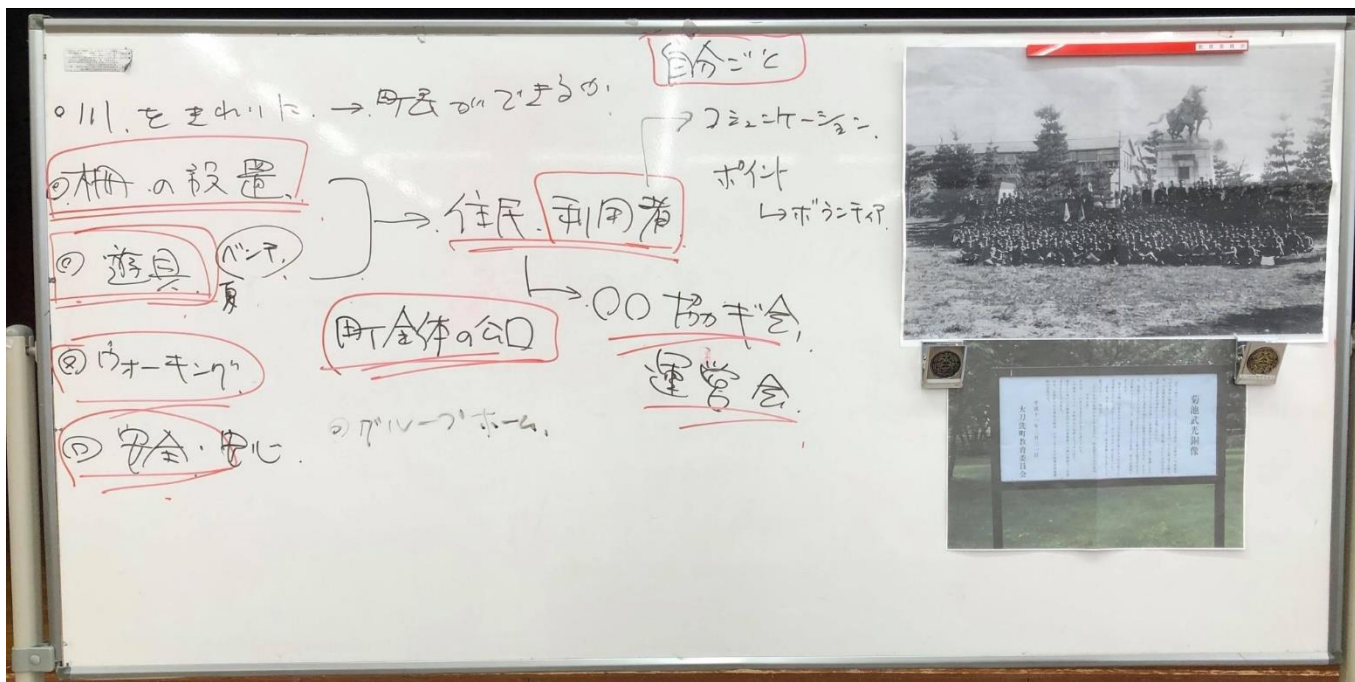
住民協議会に参加をして公園に何度も行った方がいっしょだったように、自分ごと化をすることはとても大切なこと。他の自治体では、同じように住民協議会に参加をした方が、街のことを観察し始めるというようなことが起きている。すると、街のことに関心が出てくる。子どもたちも同様だと思う。

これまでの議事録と今日の議論を拝見して、皆さんの意見はどれも正しく、どれもマイナス面を持ち合わせているかもしれない。そういったことを考えながら、今後も色々な形で加わっていただけると大変ありがたい。併せて、行政にもこういった視点を持ってもらい、住民が生きると、喜んで参加してもらえるような場を継続してもらえたらと思う。

5. 挨拶

中山町長から挨拶があった。

ホワイトボードの写真



備考 (その他、記録すべき事項を適宜追加)

特に無し